

月刊 あなたにこの本を！ 平成 26 年 9 月号

大阪市立図書館 「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。



…字が大きめ



…中高生にも



…図・写真が多い

※価格のあとに()内の番号は、大阪市立図書館書誌 ID です。



デザインマンホール 100 選 — 阿寒から波照間島へ旅歩き —



池上 修、池上和子 共著
アットワークス 1700 円
(0012908402)

ジャンル：暮らしにうるおいを

デザインマンホールは、昭和 52 年に沖縄の那覇市で、マンホールにたくさんの魚が描かれたのをきっかけに、全国に広まった。本書では、日本全国を渡り歩き撮影されたもののうち、厳選した 100 種類が紹介されている。上野市の「伊賀忍者」、大阪花博の「花ずきんちゃん」など、地域ならではの自慢がぎっしり詰め込まれたマンホールは、見ているだけで楽しい。巻末の都道府県別索引を参考に、自分の町のマンホールを探しにでかけたくなる。〔519.2〕



鳶(とび) — 上空数百メートルを駆ける職人のひみつ —



多湖弘明 著
洋泉社 1500 円 (0012976477)

ジャンル：知識・教養を深める

著者は、大阪ドームの現場を経験し、東京スカイツリーの建設にも携わった、大阪出身の現役の鳶職人だ。目の前で起きた仲間の死をきっかけに、鳶の生き様を写真や文章で表現し始めたという。本書は、高層現場での作業内容や8キロもある腰道具、仕事着であるニッカボッカの機能性など、鳶の世界を紹介する。過酷な作業に打ち込む姿からは、命がけの仕事にかける職人達の熱意が伝わってくる。はるかな天空から地上を見下ろす現場写真の迫力にも魅了される。〔525.5〕



平安女子の楽しい!生活



川村裕子 著
岩波書店 840 円 (0012985595)

ジャンル：歴史・文化に親しむ

友だちとおしゃれトークで盛りあがったり、メールの書き方に悩んだり、いつの時代も女の子は大忙しだ。本書では、『源氏物語』などの古典文学を下地に、平安時代を生きる女の子たちの華やかな生活を現代に置き換え、ラブ編等の項目別にわかりやすく解説する。ライフ編では、清少納言をはじめとした宮仕え女子のオフィス事情や、夢を持ち続けまっすぐに生きた姿をとりあげる。平成女子へのエールもたっぷりで、楽しく平安生活の基礎知識を学ぶことができる。〔910.23〕

実家のたたみ方

— 空き家と遺品の「困った」を一挙に解決! —

千葉利宏 著
 翔泳社 1380 円
 (0012965847)

ジャンル：現代社会を見つめる

近年、日本では空き家が増え続け、その管理を巡り問題となっている。本書では、実家をたたむにあたって、事前準備からたたむまでの実際の流れを説明する。空き家を有効活用するために地方自治体が運営する「空き家バンク」があり、そこに実家を登録することもできる。一軒家だけでなく、農地や森林の処分方法やマンションのたたみ方なども含め、多くの事例がコンパクトにまとめられている。膨大な遺品への対処法にも触れられ、様々なヒントが詰まっている。〔365.3〕

体感する宇宙

竹内 薫 著
 KADOKAWA 1200 円
 (0012954928)

ジャンル：知識・教養を深める

本書は、宇宙用語を身近な状況に置き換えて「体感」してみよう、というコンセプトのもとに書かれている。無重力は「1 分間逆立ちをしてみよう」、ヒッグス粒子は「雪の上を歩いたり滑ったりしながら移動してみよう」など、宇宙の抽象的な概念が具体的な体験に例えて表現される。少し強引に感じられるが、その大胆さは読み手の興味をかきたて飽きさせない。解説文もわかりやすく、理数系を苦手と感じている人にもおすすめの宇宙入門書だ。〔440.4〕

ヒトはなぜ絵を描くのか

— 芸術認知科学への招待 —

齋藤亜矢 著
 岩波書店 1300 円
 (0012898055)

ジャンル：知識・教養を深める

著者は、科学的に芸術の本質を探究する芸術認知科学を専門とする研究者だ。チンパンジーと人間の子どもの描画行動を比較し、人間はなぜ絵を描くのか、視覚芸術とは何なのかを探っている。あいまいな形から「想像」をふくらませ、別のものを「創造」して描き出すという、人間の特性が見えてきた。それは、壁面の凹凸や亀裂を動物の体のふくらみや輪郭に利用した旧石器時代の洞窟壁画にも見られるものだ。「描く」という心のしくみの不思議を考えさせられる。〔720.1〕

糸と針 BOOK

文化出版局 編
 文化学園文化出版局 2300 円
 (0012930922)

ジャンル：暮らしにうおいを

日本とアジアの針仕事についての雑誌の特集記事に、エッセイを加えて再構成したのが本書だ。日本刺しゅうの技法を駆使した豪華な小袖や、力強い針目の刺し子を施した漁師の仕事着ドンザ等を色鮮やかな写真で紹介する。縁起のよい麻の葉文様を刺した産着や、邪をはね返す鏡を縫い付けたインドの子ども服等には、我が子の成長を願う母の思いが込められている。これらの細やかで美しい手仕事には、時間の重みと作り手の祈りが表れており、見る者の心を打つ。〔753〕